

第 5 回長野市都市計画マスタープラン改定専門部会 意見一覧表

項目	第 5 回専門部会での発言等		対応方針
	ご意見	事務局等の回答	
【市民意識調査の追加報告について】			
満足度及び重要度のスコア図の見かた	<p>○図の見方について、「重要改善領域」「重要維持領域」「改善領域」「維持領域」と4つあって、これの線を引いてあるところの数字が違うのは何か。</p> <p>○例えばこの若者世代のものと子育て世代のもの重要度スコアなどは、横並びで同じ数字で見ては駄目ということか。</p>	<p>○この基準線は、各項目の回答をスコア化して、その平均値に線を引いている。</p> <p>○そうである。当該の設問に対する相対的な位置を示している。子育てアンケート、市民アンケート、若者アンケートの間で絶対値として同じ尺度で比べられるものではない。</p>	<p>➡左記回答のとおり。</p>
	<p>○H28 のアンケートと今回のアンケートを比較について、H28 のアンケートの基準線は今回のアンケートの基準線をベースに弾いているか。</p>	<p>○事務局：そうである。今回と H28 を比較するという意味で、基準線は今回のアンケートの値で引いている。</p>	<p>➡左記回答のとおり。</p>

項目	第5回専門部会での発言等		対応方針
	ご意見	事務局等の回答	
【都市計画マスタープラン（序・第1編）について】			
全体構成	<p>○交通の分野であれば MaaS とか、防災であれば IoT の防災に力を入れていくとか、そういうような分野があって、それをつなぐ横串みたいなものがあまり見えず、分野ごとに完全に独立してしまっているような印象を受ける。</p> <p>○課題、理念、目標、分野別のリンクがすごく弱いという印象がある。</p> <p>○改めてこのマスタープランの素案を読んで、とても難しいと思った。そういう意味では、大切なことが書かれているが、読み物としての導きや流れがつかめなかった。</p> <p>○p23 理念、p24 目標のところがメインと考えてよいか。そこが、もっと分かるようにしたほうがいいと思う。</p> <p>○今回、第1編を全体構想とし、その第1章に特徴や課題を記載しているが、一番大事な理念・目標がそれによって埋もれてしまっている印象を受ける。</p> <p>○例えばA3で全体の構造を一覧で見られるような工夫をしてみるとか、今後、検討を進めていく上でそういうものを作りながら議論したほうが整理しやすいと思う。</p>	<p>○事務局：都市計画マスタープランは分量が多く煩雑になりがちである。その中で、第1編を見れば、都市の特徴・現状、課題、都市づくりの理念・目標、目指す土地利用の方向性など、全体像を掴める構成とした。</p>	<p>➡都市の特徴、課題、都市づくりの理念・目標、土地利用方針、分野別の方針の一連の繋がりを意識できるよう再構成する。</p> <p>➡IoT、自動運転、AIなどの技術革新などの要素を計画の各所に記載し、分野間や各章間の繋がりを作ることを検討する。</p>

項目		第5回専門部会での発言等		対応方針
		ご意見	事務局等の回答	
理念・目標	わかりやすさ	<p>○個人的にこれを見て心が動くか、わくわくするか、行動がこれによって伴ってくるのかと考えると、まだ改善の余地がある。市民の暮らしのイメージがつかない。</p> <p>○一般の人がこの理念を読んだときに、具体的にどういうものというのがイメージできないのではないか。</p>	<p>○行政の立場からすると、ある程度網羅的で幅広い内容であることが重要である側面がある。一方で、相手に伝わってはじめて意味のあるものになるので、表現やキーワードなどについて改めて検討したい。</p> <p>○現在の長野市のいいところを、きちんと次世代に繋げていきたいという思いが伝わるようにしたい。</p>	<p>➡文章表現やキーワードなどを再検討する。</p>
	目標の順番	<p>○理念を大きく掲げているときに、最初に目標1で全ての人の移動がどうこうという目標が出てきてしまうよりは、目標2がまずあったほうがいいのではないか。</p>	<p>○理念とのつながりを考えると、確かに今の目標2が最初にあったほうがわかりやすいと思うので検討する。</p>	<p>➡理念とのつながりを考慮し、目標1と目標2の順番を入れ替える。読み手に伝わる文章表現となるよう端的な表現を検討する。</p>
	目標達成状況	<p>○その時の地域の現状や実情が、目標なども含めてきちんと反映されていていっていると分かることに意味がある。正直なところ、これが達成されている姿はイメージしづらい。</p>	<p>○都市計画なので、長い時間軸の中で一貫した方向性を継続していくという姿勢が基本となる。理念は一番根幹になるところで、長期的・継続的・普遍的なことを打ち出すべきと思う。しかし、目標のように少し下の階層では、どこを変化点として捉えていくかということがきちんと伝わる表現にできないか検討したい。</p>	<p>➡都市づくり目標について、読み手に伝わるよう、端的な表現とすることを検討する。前回改定からの変化点として、今回の改定で新たに追加する内容（第1編第5章5 経済活動等に関する方針）が伝わる表現となるよう検討する。</p>

項目		第5回専門部会での発言等		対応方針
		ご意見	事務局等の回答	
都市構造	全般	<p>○p28 集約型都市構造のイメージ図や、p32 以降の地域ごとのより丁寧な説明、土地利用区分ごとのより丁寧な説明の辺りも含めて、全体としてきちんとやるべきことが分かるよう工夫していただきたい。理想を言えば、趨勢でいった場合と、施策を打った場合の対比などができるとうい。とにかくやるべきことの方角、市としてのメッセージ、姿勢が伝わるよう工夫してほしい。</p> <p>○都市構造図などを見て、いまひとつ分かりづらさがあるのは、恐らく現状からの変化や、何が変わっていくのかというところが原因と思う。</p>		<p>➡集約型都市構造の政策を打っている理由を視覚的に伝える記載を新規で作成する。「これまで」「現状」「将来（趨勢と目指す姿の場合）」が時系列で分かる内容となるよう図や文章を作成する。</p>

項目	第5回専門部会での発言等		対応方針
	ご意見	事務局等の回答	
p31 土地利用区分のイメージ図	<p>○一見、良い図に見えるが、イメージがよく分からないところがある。特に「将来の人口・都市機能の変化のイメージ」という赤い枠が、ほぼ全て横ばい。本来、都市拠点、生活拠点、生活中心地はそれぞれ拠点階層が別なのに同じ階層に見えてしまうとか、上の「居住誘導区域」という枠組みが途中まで伸びていて、途中からなくなっているにもかかわらず、居住誘導区域内外の人口減少率はほぼ一緒のように見えてしまうとか、ここで階層性のイメージみたいなところをきちんと伝えなければいけないのに、誤った伝え方をしてしまうのではないか。</p> <p>○中山間地域は生活中心地があるようになっている。中山間地域でも今回は2つのレベルが出てくるような感じを受ける。生活中心地を持たず、本当に市街化区域のほうへの輸送を担保して、そこでしっかりと支えていこうという地区と、生活中心地をベースに生活していこうという地域の2パターンに分かれる。</p>	<p>○広域拠点が一番メインとなる拠点であり、次に都市拠点、生活拠点、生活中心地の順になるが、いずれにしても、そもそもの人口規模が異なり、一律で維持していくということではないため、その度合いが読み取れるような表現としたい。</p>	<p>➡人口密度の表現について、土地利用区分ごとに、現状の人口規模や都市機能の集積度合いを踏まえ、今後目指す姿が伝わる表現となるよう検討する。</p>

項目	第5回専門部会での発言等		対応方針
	ご意見	事務局等の回答	
中山間地域の拠点	<p>○p31 土地利用区分のイメージ図で、中山間地域の拠点をほかの拠点を全く同じように考えている。人口減少の中で拠点の考え方は、再検討した方がいい。</p> <p>○中山間地域も重要なのだということが読み取れるような計画にしていかないと、総花的な計画の中で、どうしても周辺部である中山間地域が埋もれて見えなくなってしまう。</p>	<p>○中山間地域の位置づけについては、総合計画を担当する企画課と、各支所を総括している地域活動支援課と都市計画課の3課で調整しながら、記載方法を検討している。</p> <p>○長野市の政策上32地区で頑張っていくという考えのもと、まずは支所としての機能を維持する中でコミュニティの維持を図っていく考えで位置を落とし込んでいる。</p>	<p>➡中山間地域の生活中心地の人口密度は、将来的に減少することはやむを得ないとしても、趨勢よりは増加させることを目指す。</p> <p>➡都市マスにおける中山間地域の位置づけや記載方法は、関係課と調整しながら検討を進める。</p>
課題整理	<p>○p36 交通体系の課題は、課題ベースでいくと自転車の利用をやすくする話を中心になってくるが、本来は逆で、目指す姿があった上での課題だと思う。</p>	<p>○ご指摘のとおり、現状や趨勢と、目指す姿とのギャップが課題になると思うので、見せ方を含めて再検討したい。</p>	<p>➡分野別方針の構成は、「現状と趨勢」→「目指す20年後の姿」を記載することを検討する。</p> <p>➡「目指す20年後の姿」の文章表現について、「～目指します」などの表現へ修正する方向で検討する。</p>
目指す20年後の姿	<p>○目指す姿のところは「やります」、「します」という書き方ではなく、こういう姿を「目指します」という表現の方が良いではないか。</p> <p>○例えば「自転車利用のネットワークが形成される…」のところは「誰もが安心して自転車に乗れる」「車に乗る代わりに自転車を選べるようなまち」のように、具体性と理想像の表現の混在するところは少し整理いただければと思う。</p>		

項目		第5回専門部会での発言等		対応方針
		ご意見	事務局等の回答	
分野別	交通	<p>○人口も自動車の購入台数も減っていく中で、この先、ハード整備よりソフトで対応していく時代になってくるという観点が必要だと考える。</p> <p>○公共交通も全部を網羅できないので、例えば重点的に残すところがあるのであれば、そこが利用しやすいような施設を造るのか。例えば中心市街地に行こうと思っても車で行くのは駐車場などが不足している。公共交通機関に乗って行こうと思っても、そこに行くときの駐車場が不足している。</p> <p>○人口減少が進んだ10年後、20年後をイメージしたとき、車ではなく公共交通機関を充実させていくという市の積極的な方針があったほうが、私たちも車をやめて歩こうという導きになるのではないかと。また、環境、脱炭素社会の対応というのもこれから大事になってくるので、必然的に車は乗らない方がいいという絵を示していただくと、すごくいい計画になる。</p>	<p>○結節点の駐車場については、長野駅東口を整備した時に計画策定したが、その後整備が進んでいない実情もある。今後、記載できることは記載していきたい。</p> <p>○どちらかというと、長野駅まで来て、そこで駐車してまちなかを歩くという移動形態が多い。結節点への駐車場も検討しながら、まちなかの駐車場の配置なども検討していかなければと考えている。</p> <p>○公共交通について、現在、公共交通のリ・デザインの実現に向けて、令和9年4月に地域公共交通計画の改定を予定している。1つの部局で対応するのではなく部局横断的な検討を行っているので、連携を図って記載したい。</p>	<p>➡公共交通について、令和9年4月公表予定の地域公共交通計画の改定と連携を図りながら検討を進める。</p> <p>➡各バス路線の位置づけについて、重点的に維持していく路線、必要十分なサービス水準を確保する路線など、地域共通計画と調整を図りながら検討していく。</p>

項目	第5回専門部会での発言等		対応方針
	ご意見	事務局等の回答	
物流	<p>○物流への対応や位置づけは、どのように考えているか。</p> <p>○例えば、最終的に商店まで物が届くとか自宅まで物が届くとかというときに、共同集配とか荷さばきとかの考え方も、特に中心市街地に関わる項目にあってもいいのではないか。</p>	<p>○企業立地課にて企業立地場所の選定を行っている。インターチェンジからアクセスが良い場所を、企業立地誘導するときに物流ゾーンとすることも可能と思う。</p>	<p>➡「第1編第5章分野別の方針 1 交通体系の方針」の中の「中心市街地における歩行者中心のまちづくり」の箇所ので、共同集配や荷さばきに関する考え方を盛り込むことを検討する。</p>
緑化	<p>○市街地などの緑化は、行政だけではなく地元の人々の協力が非常に大事。</p>		<p>➡「第1編第5章分野別の方針 2 まちなかの緑の整備の方針」の箇所ので、市街地の緑化において、地元住民等の協力や機運を高める働きかけについて盛り込むことを検討する。</p> <p>なお、善光寺表参道の歩行者優先化事業などにおいて緑や憩い空間を創出することを検討しており、そういった動向も踏まえ、「第1編第1章 1 都市の特徴」に中心市街地の緑について記載している。</p>
脱炭素	<p>○脱炭素を含めた話、p45 自然環境保全と都市環境整備あたりにさらっと書いてあるが、そういうレベルの話ではない。もう少し前に出すということをぜひご検討いただきたい。</p>		<p>➡「第1編第5章分野別の方針」の中に「6 脱炭素や省エネルギーに関する方針」として、新規分野を記載することを検討する。</p>

項目		第5回専門部会での発言等		対応方針
		ご意見	事務局等の回答	
	経済（商工）	○指針の中に「経済活動に関する方針」があるが、商工のほうのビジョンとすり合わせが必要ではないかと思う。	○商工労働課で、商業に関する形成指針を令和9年4月の公表に向けて策定しているので、連携を図り、市の方向性として一貫性のあるものにしていきたい。	➡左記回答のとおり。
その他	アンケートの活用	○せっかくアンケートを分析したのに、ただ資料編に載せて、本編には活用しないのはもったいない。 ○私も同じように感じる。		➡アンケート結果を有効に活用方向で検討する。例えば、「第1編第5章分野別方針」の「現状と趨勢」の箇所に現状把握の意味合いで記載することを検討する。
	図表の表現	○p14 人口の分布図は、長野市全体が拡大図で隠れている。長野市の全体を見るためには、長野市はきちんと見えていたほうがいい。また、中心の所だけ抜き出して載せるのは、鬼無里や中条などの地域がないがしろにされているような印象を与えてしまう。 ○p48 自然環境の保全の図は、同じような色で言いたいことがたくさんあって非常に見えにくい。全ての方に伝わるような色使いにしたい。		➡長野市全体と中心部の拡大図の2つを掲載する。 ➡自然環境の保全の図の色使いについて、色の区別がつくように修正する。

項目	第5回専門部会での発言等		対応方針
	ご意見	事務局等の回答	
新技術（AI, 自動運転など）	<p>○A Iなどが進展しているという部分、近未来ではないが、うたい込んでであるとより10年後、20年後と近い計画になるのではないか。</p> <p>○A Iをはじめとするテクノロジーは、もう避けては通れないし、実際に使われている場面が行政の中でもあるか、目前に迫っている。自動運転も思っているほど先ではなく、もう実装化されそうな気がする。</p>		<p>➡計画の各所に、技術革新など将来に繋がる要素を記載する。例えば、「第1編第1章都市の特徴」の「認識すべき課題」の箇所に新技術に関連した記述をした上で、分野別方針にも関連性のある記載をすることで計画書内の繋がりを作ることを検討する。</p>
その他	<p>○写真は、戸隠推しというのは分かるが、長野市全体のバランスを見て掲載してほしい。</p>		<p>➡掲載する写真の地域バランスに配慮する。なお、写真は計画書が一通り形になった段階（素案の公表前）に全体のバランスを見て選定する。</p>